

議会広報広聴委員会

令和3年8月25日（水）
午後1時30分から
全員協議会室

- 【出席者】三浦委員長、西川副委員長、
村武委員、川上委員、小川委員、野藤委員、笹田委員、芦谷委員、
佐々木委員、澁谷委員
- 【事務局】近重係長、小寺書記
-

議題

- 1 はまだ議会だよりVol. 63について…………… 資料1
 - (1) ページレイアウト
 - (2) 掲載記事及び原稿提出締切
 - (3) その他

- 2 はまだ議会だよりminiについて…………… 資料2
 - (1) 第8号掲載内容及び原稿担当
 - (2) その他

- 3 はまだ市民一日議会の反省について…………… 資料3
 - (1) 具体的に意見のあった内容の整理
 - (2) その他

- 4 地域協議会との意見交換会について（資料なし）
 - (1) 今後の方針
 - (2) その他

- 5 その他

はまだ市民一日議会の課題等について

1 アンケート等に基づく課題・改善点

(1) 議員の質問

【発言者及び傍聴者意見】

- ・ 議員の方の質問する人が決まっていて、色々な議員の質問を聞きたかった。お年の方は、質問すらできないのですか？
- ・ 議員の方は、この意見をどう受けとめているか表明した上で質問した方が立場がはっきりしてわかりやすいのではないのでしょうか。私たちも言っているのですが実現できない夢は愚の骨頂です。
この事については、ここまで話し合ったがこの点やこんな所が問題で先に進んでいない等の説明があってもよいのでは。
- ・ 議員の質問の姿勢（発言の仕方、少し声を荒げる）、同様に一部市民の態度も見直すべきだと思いました。大人よりも子供の発言の方が分かりやすく時間内で発言していたよかったです。
- ・ 発言されない議員さんのご意見を聞きたい。後でも聞ける仕組みか、後日各位の意見をネットで公開など。
- ・ 意見に対する議員の発言が固定している（片寄っている）。
- ・ 質問されない議員さんもおられました。

【議員意見】

- ・ 議員の質問が長い。
- ・ 時間も短いため、発言内容の意図の確認や、今後具体的にどのようにしたいか、あるいはしていったら良いかなど、発言者の意図をより汲み取ろうとするものが適している。
- ・ 発言内容に対する事前の調査研究が議員側に不足していたと感じた。発言に対して的外れな質問が見受けられ、発言者を困惑させることは避けるべき。市民のご意見を傾聴する姿勢が大事であり、発言者を攻撃するような質問が出た場合は、議長の裁量で抑えることが今後必要。
- ・ 質疑は今回のように議員の主観などが入れれば長くなってしまい、質問できなくなることから、あくまでも発言内容に対して端的に尋ねるほうが良いと思う。
- ・ 質疑時間の効果的、有効的な活用の工夫が必要である。出された意見について、市民提言として受けとめるという認識が必要ではないかと思う。
- ・ 市民の意見を聞いて感想だけ言う場なのか、質問に対して執行権のない議員として、率直に聞く事、アドバイスを含め質疑する事がいけないのかルールを決めるべきだ。
- ・ 担当委員会や議員の専門性を考慮し、多くの議員が質問できるとさらに良いと思う。
- ・ 次回からは、議員の質疑はやめたほうが良い。
- ・ 議員の質問は次回参加の意欲低下にならないようにすべき。

はまだ市民一日議会の課題等について

(2) 発言時間・質問時間

【発言者及び傍聴者意見】

- ・ 5分では少ない方、答えが得られていない方もいたように感じた。
- ・ 5分は少し短く、色々の意見を聞く会としては不十分と思います。次回あるとすれば大きなテーマを決めると良いと思います。
- ・ 発言5分は短過ぎる。
- ・ 1人10分は良かった。個人的提案を伝える事は市民として持ち続けたい。賑やかな浜田市に向けて老いた身ではあるが前向きに進みたい。
- ・ 発言者の人数が多かったので、1人5分間の持ち時間（仕方ないこと）でしたが、もう少し聞きたいと思う内容もありました。

【議員意見】

- ・ 質疑と応答の時間が5分は少し短いように思えた。同じ5分でも発表者の意見としての持ち時間であれば良かったように思った。

(3) 応募受付方法

【発言者及び傍聴者意見】

- ・ 同じ発言者が出ない形で再々やってほしい。

【議員意見】

- ・ 17人は多い。10人程度で。
- ・ 参加人数について、今回は初めてということで応募者全員を受け付けたが、今後は継続を前提に各回10人程度としたほうが当日の時間や、後日の議会としての対応には適当だと思う。
- ・ 今回は初回だったので、応募者全員に出ていただいたが、今後実施する場合は、時間の関係もあるので決められた人数で行うほうが良いと思う。
- ・ 当初の参加人数を変更した点は気になる。今後継続する時には、注意が必要。
- ・ 学生と大人、別の日にしてはどうか。
- ・ 学生に特化してもいいのではないかと感じた。
- ・ 参加人数制限なしで朝から、2日間かけても良いからすべき(前例をつくったので、覆すのは?)。また、あくまでも人数制限するのであれば、抽選をするべきである。

はまだ市民一日議会の課題等について

(4) 配付資料

【発言者及び傍聴者意見】

- ・いきなり渡された大量の資料は何？意味不明である。

【議員意見】

- ・配布資料の分量、配布方法等に関するルールは、犬山市議会などを参考にして見直しが必要。

(5) 開催頻度

【発言者及び傍聴者意見】

- ・年1回は開催するべきと思います。
- ・質問内容をしばって数回でも開いてほしい。
- ・定期的に開催してください。
- ・同様な会の頻度を上げてほしい。

※継続すべきと回答した議員：5人

(6) その他運営

○傍聴者等に対する流れの周知

【発言者及び傍聴者意見】

- ・本日の提言がその後どうなったか議会だより等で報告してほしいです。
- ・今回の市民の皆さんの発言を、実行に移すのでしょうか？それらの取組の発信を市役所、議員さんはされるのでしょうか？
- ・この提案のその後は、どこがどうやって取り組んでいくのか。取り組む必要がないとなると、その判断の根拠は何なのか、知りたいです。その知る機会を作っているのでしょうか？
- ・本日の意見について、どのように返答（実行）をされるのか楽しみにしています。
- ・今回の議会、その後の動きに注目しています。
- ・発言した意見についてどうなったか発言者に報告してほしいと思います。
- ・市民の声を聞いて、その後の回答も聞いてみたいです。

【議員者意見】

- ・出られた方は、理解していると思うが、傍聴された方や、動画を見られた方から、この意見の取り扱いについて聞かれたので、周知が必要だと感じた。

はまだ市民一日議会の課題等について

○執行部の出席

【発言者及び傍聴者意見】

- ・市の施策や姿勢を批判することは全然ありだと思いますが、批判の度合いが非常に強い場合に、市側に反論の機会が与えられないのは、少し気の毒に感じました。

【議員意見】

- ・意見などをどう市政に反映させるか、全体の流れや提案後の着地をどうするか、執行部も交えた議会での合意づくりが必要。

○意見の振り分け

【議員意見】

- ・基本的には3常任委員会に振り分け、その後の対応については担当委員会が責任をもって行うことでどうか。会派又は個人として取り組みたいとの希望がある場合や、複数の委員会にまたがるテーマの場合の調整、発表者への経過、結果報告のスケジュール等は議会広報広聴委員会が行った上で素案を作成し全員協議会で承認するようにしてはどうか。個別の意見に対する対応策については大枠の流れや仕組みが決まった上で、その枠組みの中で検討すべきと考える。

○その他

【発言者及び傍聴者意見】

- ・2部に分けられたことで後半は遅い入室でも良かったのではないかと思います。

【議員意見】

- ・質疑する議員がルールを守らないのは、退場させるべきである。
- ・進行と運営について具体的な説明がなかった。